

省エネの第一歩は、まずできるところから実施することです。費用のかからない運用改善による省エネは、即効性のある対策で、コスト削減効果が実感できれば、次の一歩につながります。

事例 外気導入量の適正化で大幅なコスト削減

省エネのプロの診断で、CO₂濃度がビルの管理基準を大きく下回っており、外気導入量に大きなムダがあることに気づかされました。外気導入量の適正化というアドバイスを実行することで、年間約1,500万円の空調コスト削減が達成できました。

【外調機の役割】

外気を取り込み、適切な温度、湿度、清浄度に調整



CO₂濃度の適正化

【従来】

ビル内各居室 600~700ppm

【改善後】

ビル内各居室 900ppm

設定変更に伴い、
必要な外気量が大幅に削減

《2つの省エネ効果》

- ・ファン動力の削減
- ・外気の加熱エネルギーの削減

相次ぐ大規模震災の発生を契機に「節電」の意識が芽生え、照明のLED化や空調改修は実施してきましたが、更なる省エネを目指して「省エネ最適化診断」を受診し、新たな改善点が見つかりました。

交洋不動産株式会社 北洋ビル 様 (北海道札幌市)

1952年の創業以来、地域社会・経済の発展とともに歩み70周年を迎える。北洋ビルは札幌中心部の大通公園に面したオフィスビル。地下3階、地上10階、登記面積20,388m²。



※交洋不動産様の省エネ活動の詳細は「省エネ事例集2022年度」でご紹介しています。

